

食育をテーマに

新年度 RCE運営委がTV会議 活動方針



テレビ会議に臨む気仙沼RCE推進委員会のメンバー

国連大学の「持続可能な開発のための教育」(ESD)を推進する仙台広域圏ESD・RCE運営委員会(委員長・小金澤孝昭宮教大教授)が二十七日、テレビ会議で行われた。広域圏を構成する仙台、気仙沼、大崎(田尻)の各地をつなぎ、それぞれの活動を振り返りながら来年度事業の方向性について意見交換した。

同運営委員会は平成十七年の発足以来、仙台市を中心に一カ所で開いてきたが、テレビ会議システムを使った中継会議は今回が初めて。気仙沼市

は面瀬小学校が会場となり、白幡勝美委員長(市立図書館長)ら気仙沼RCE推進委員会のメンバーが出席した。

また、三地域共通のイベントとして「食育」をテーマにしたものが提案された。小金澤委員長は「食育は仙台の循環型社会、気仙沼の環境教育、田尻の持続可能な農業のそれぞれ取り組んでいるそれぞれに共通する部分をテーマに共通する部分を

みを学び合う連携の場を確保する。気仙沼市側から、独自の取り組みとなっている小、中、高校間の連携の強化、スローフードフェスタを通じて見えた食育と環境教育のつながり

仙台広域圏

薄着で頑張りました

階上 松岩
両小児童

移川校医が表彰

気仙沼

気仙沼市立階上、松岩行っている。今年は両校両小学校で、年間を通して合わせて十五人の児童が薄着で過ごした児童が表彰された。

「薄着は体だけでなく、心も鍛えられます。良いことはぜひ続けるべき。来年は多くのおみなさんが表彰されるように頑張ってください」と激励した。両校の受賞者は次の通り。敬称略。

表彰式は階上小が二十七日、松岩小は二十七日に行われ、移川理事長から一人一人に賞状と盾が贈られた。移川理事長は

「も」と難しいスペシャリスト的な検定があつてもよい」といった指摘もあった。

事務局長の市企画政策課では「気仙沼の魅力を再発見してもらうのが目的。多くの受検者にその

▽階上小 小野寺将史(二年・二回目) 小野寺達哉(三年・同) 大和健太(四年・三回目) 畠山夏生(同・二回目) 小野寺優(同・三回目) 小野寺崇史(同・同) 梶原裕太(五年・同) 高橋菜都美(同・初) 佐藤茉央

149人全員が合格

気仙沼市 おもてなし検定

気仙沼市おもてなしの県、神奈川県などからもまちづくり推進協議会があった。最少は九歳

送付された。 (Amida・山手町三山五五番 長尾美幸一七歳。 寺一七歳。 見心)



鮮魚市況

27日

市況 保合。

マグロ・はえなわ 一隻 四二・一ト合。

小舟

七三〇 三・五〇

青果市況

27日

市況 (高値) (中値)

◎そ菜 入荷(一ト) 保合。

大根本 一一六 七四バ

カブ 東 一五八 二六廿